

☆協定加盟事業所からの事業所紹介

東海ノア協定加盟事業所間の相互理解を図ることを目的に、安全活動への取組状況等について加盟事業所からの紹介記事を掲載します。

『東京大学における原子力人材育成』

国立大学法人 東京大学

大学院工学系研究科 原子力専攻

東京大学大学院工学系研究科は、豊かな教養に裏付けられた、科学技術に対する体系的な知識と工学的な思考方法を身につけ、工学とその活用に係わる研究、開発、計画、設計、生産、経営、政策提案などを、責任を持って担うことのできる人材を育成し、未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる研究へと果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献することを教育研究上の目的としており、幅広い工学分野を教育する多くの専攻があります。

この中で原子力専攻は、国内唯一の原子力専門職教育を担う標準修業年限一年の専門職大学院として、2005年4月に設置されました。本専攻では、高度な専門性が求められる原子力施設の安全運転と維持管理、及びその監督と指導にとって必要な深い学識及び卓越した能力を培い、原子力産業、研究開発機関、及び行政機関等で指導的役割を果たす高度な原子力専門家の養成を目的とし、さらに、先進原子力エネルギー、原子力社会工学、先進レーザー・ビーム科学と医学物理等の研究の遂行を目的としています。

このような包括的かつ実践的な原子力人材育成のため、東京大学では、国内の様々な先進機関（日本原子力研究開発機構、電力中央研究所、電力会社、行政機関、研究機関等）との協力体制を構築し、理工学から人文社会系に跨る原子力専門知識の体系的な教授に力を入れています。これら機関の協力の下、研究用原子炉、核燃料サイクル安全工学研究施設、プラントシミュレータ、原子力緊急時支援・研修センター等、世界最先端の施設を利用



専門職授業風景

した教育実習プログラムを実験、実習等として取り入れ、座学のみでは習得できない実務に近い環境での実地教育の実践を可能としています。教育スタッフの総数は約55名に上り、入学者数約15名の4倍程度と、非常に手

厚い教育組織となっています。

当専攻の教育体系は、原子力規制委員会、JABEE[※]、IAEA原子力マネジメントプログラムの3つの認定（認証評価）を受けています。本専攻において所定の単位を取得して修了しかつ所定の成績を取得した者に対しては、国家資格試験である原子炉主任技術者試験の一次試験、及び核燃料取扱主任者試験において、試験科目の一部が免除されます。また、本専攻は、原子炉主任技術者試験の二次試験（口答試験）受験資格としての要件を満たす講習機関の1つとして指定されています。培った教材の一部は原子力教科書シリーズや英語教科書として発刊されており、IAEAのe-learning教材としても活用されています。



原子力教科書シリーズ

専攻設立以来、この教育課程を修了した学生は250名を超え、原子力規制庁、電力会社、研究機関、大学等の原子力の第一線で活躍しています。前述の国家試験では毎年十数名が合格し、全合格者の過半数を占めています。

東京大学原子力専攻は、原子力の一層の安全に貢献すべく、有為な人材の育成に今後も務めて参ります。また、この場を借りて、日ごろより当専攻にご協力をいただいている関係機関、関係各位に心より感謝申し上げます。

※：一般社団法人日本技術者教育認定機構

以上